

# 「革新的衛星技術実証 2号機」ができるまで

## 開発風景 1

RAISE-2 搭載機器関連編

「革新的衛星技術実証 2号機」の開発風景をお届けします。



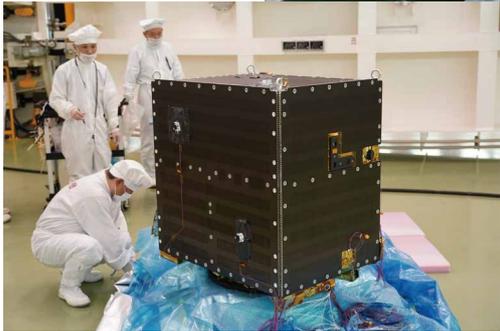
筑波宇宙センターにRAISE-2が運ばれてきました



RAISE-2が到着しました！



試験のため、RAISE-2をチャンバに入れます。チャンバでは宇宙環境と同じ条件を作り、衛星や機器のテストを行うことができます。



▲RAISE-2の梱包を開けていきます

◀RAISE-2がお目見えしました。これは「エンジニアリングモデル」と呼ばれる開発試験用モデルです。



続いて、RAISE-2に搭載される機器が筑波宇宙センターにやってきました。

# 「革新的衛星技術実証 2号機」ができるまで

## 開発風景 2

超小型衛星・キューブサット編



◀キューブサット「KOSEN-1」製作の様子。高専生が組み立て、試験などに取り組んでいます。

©群馬工業高等専門学校



©帝京大学

超小型衛星「TeikyoSat-4」を▶クリーンルームで組立て中。チリなどが付かないよう、きれいな環境に保った部屋の中で試験や組立てを行います。

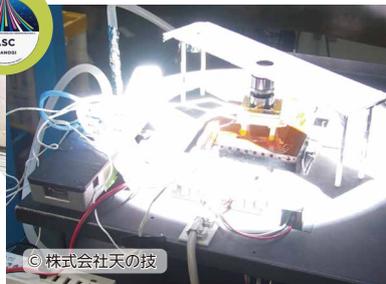


©株式会社天の技

◀「ASC」の振動試験の様子。ロケットが打ち上がる際の振動に機器が故障せずに耐えられるかを確認します。



「ASC」に太陽光を模擬した光を▶当てる試験を行っています。



©株式会社天の技